

2019/4/12

神代植物公園

植物多様性センターの「ゴマギとサンゴジュハムシ」

武蔵野ゾーンれき地エリアのすぐそばの、流れの脇にある高さ1メートルほどのゴマギに、今年はずっと1枝だけ蕾がつかまりました。ゴマギはガマズミの仲間の落葉高木で、ゴマの香りのする植物としてもよく知られています。また、ガマズミの仲間であるため、サンゴジュハムシの食草でもあり、時として葉がなくなるほどの大きな被害を受けます。昨年、懸命に防除をしたおかげでしょうか、今年はこんな小さな樹高で蕾をつけてくれました。



ゴマギ: 今年初めて枝先についた円錐花序の蕾(本年4/10)



ゴマギ: 花冠が5裂した直径1センチ弱の花を咲かす(水元公園)



サンゴジュハムシ幼虫: ガマズミ属が食草(ゴマギ: 本年4/10)



サンゴジュハムシ成虫: 産卵し卵で越冬(ガマズミ: 昨年12月)